

「女子力 ♀ × ♂ 男子力」

＝地域力!?



2010年度からスタートしたコムズと学生さんのコラボ企画・「コムズ白熱教室」。今年度は、松山東雲女子大学国際文化学科 地域貢献・国際貢献ゼミの皆さんと協働で開催しました。

企画、広報、運営…全て学生さんが中心となって開催する「白熱教室」。今年のテーマは「女子力×男子力＝地域力!？」です。

キックオフ
セミナー!

第1回 伝統文化の中の女子力!? ～和のコミュニケーションに見る女子力～

11月2日(金) 16:30~18:00



担当者の声

日本の伝統的なコミュニケーションの場、「お座敷」で、人と人をつなぎ、楽しませるフロと言えは芸者さん。私たちの生活の基盤にある“和”のコミュニケーションの方法を、松山の芸者さんから学び、現代の女性にとって必要なコミュニケーション力を考えます。

参加者の声

芸者さんの笑顔が素敵で、身振り手振りの一つ一つが丁寧でした。見習って素敵な女性になりたいと思いました。

★ゲスト★

松山検番
芸者 小満千代さん
振袖 貴美千代さん



大切なのは外見の女性らしさ・男性らしさではなく、中身の魅力であり、コミュニケーションがとれる、一緒にいて楽しいということだと思います。

第2回 女子力×ことば力=地域発信力!?

11月16日(金) 18:30~20:00



担当者の声

私たちの身近な情報源「テレビ」。
そこから見えてくるものは、何でしょうか。
今回はアナウンサーの方をゲストに、
「女子力」としての身だしなみや言葉遣い、
振舞いなどを教わります。
また、地域の人々とつながる為に、
地方のテレビ局として心掛けていることを学びます。

参加者の声

「女子力」と聞くと「外見」と思いがちだが、
表現力などことばの力も大切だと学んだ。

★ゲスト★

南海放送アナウンサー
戒田節子さん・月岡 瞳さん



「笑顔」と「大きな声ではっきりと挨拶する」
まずは行動に移したい。
「女子力」は自分を発信する力だと思った。

第3回 女子力×仕事力=自分力!?

11月30日(金) 18:30~20:00



担当者の声

“女性らしさの発揮”それは男性が多い現場で
どのような形で行われているのか。
今回は女性消防士と女性警察官の方を
ゲストにお招きし、
現代の女性に必要な仕事力と、
自分力を追求していきます。
皆さんにとっての自分らしさとは、何ですか？

参加者の声

女性が働くことの難しさがある一方で、
女性にしかできない、
女性だからこそできる仕事があると感じた。

★ゲスト★

女性消防士
女性警察官



仕事に女性・男性の境界はなく、
女性が活躍できる場があると実感した。

第4回 女子力×情報力=創造力!?

12月7日(金) 18:30~20:00



担当者の声

女子力という言葉は雑誌から生まれました。雑誌を通して情報を広めている編集者たちの考える女子力とは何なのか。その意味や期待する内容、理想の女性像について一緒に考えてみましょう。

参加者の声

お話を聞くと、自分が想像していた「編集」・「営業」の仕事と違って、興味深かった。

★ゲスト★ 株式会社エス・ピー・シー
「タウン情報まつやま」
男性編集担当者
女性営業担当者



うまくいかなかったことや失敗談まできちんと伝えてくれて参考になった。地域情報を発信するタウン誌をじっくり読んでみようと思った。

第5回 女子力×男子力=地域しあわせ力!?

12月21日(金) 18:30~20:00



担当者の声

女子力と男子力が結び付く点はどこでしょうか？私たちは、結婚だと考えました。そして、妊娠・出産には、男女の力が必要になります。これらは地域のしあわせにどう繋がるのでしょうか。そこで、出産を通して夫婦・家族と深く関わる助産師さんに、お話をうかがいます。

参加者の声

人間の本能に従ったお産の意味を知り、助産院で出産するという、病院以外の選択肢の重要性が理解できた。

★ゲスト★
まつやま助産院 院長
助産師 武智 恵子さん



「女子力」・「男子力」とは、それぞれが、自分にできることでお互いを支え、家庭を築いていく力だと思った。